

ながはま 見聞録

Nagahama Hotnews

このコーナーは、長浜の見どころ、市民の皆さんの活動の様子やまちで見かけたほっとな話題を紹介し、あなたが知っている旬の話題などがあれば、市民広報課 ☎65-6504) までお知らせください。

長浜市公式 SNS

- 長浜の催しや風景など、自慢の一枚をInstagramに投稿してください。長浜市公式Instagramアカウント「#みんなのちよびつく」で紹介し、詳しくは市ホームページをご覧ください。
- 見聞録のイベントは市公式 Facebook ページでもさらに詳しくみることができます。



▲市ホームページ



▲ほっとにゆ〜す

4月19日(金)

人を育て、組織を育てる「イクボス宣言」

市長はじめ市の幹部職員が「イクボス宣言」を行いました。「イクボス」は人や組織を育て、結果が出せる管理職のことで、全国の自治体や民間企業でその活動が広がっています。NPO 法人ファザーリングジャパン 安藤哲也代表理事の講演後に行われたイクボス宣言式では、職員らが宣言書に署名し、「定時退庁を守る」、「仕事と家族を両立を実施する部下を応援する」など、それぞれの目標を記しました。



4月21日(日)

春の訪れを告げる華麗な舞

JA 北びわこ木之本支店の駐車場で、よさこいまつり「賤ヶ岳春乱舞」が開催されました。地元よさこいチームが中心につくる実行委員会が開くもので、今回で 15 回目。県内外の 17 チームが演舞を披露しました。このイベントは競技ではなく、会場が一体となってよさこいを楽しむのが目的で、どのチームも和気あいあい。笑顔いっぱい演舞を披露していました。

4月25日(木)

伝統野菜のブランド化をめざして

長浜バイオ大学が取り組む、湖北町尾上の伝統野菜「尾上菜」のブランド化事業に、長浜農業高校農業科 3 年生の 12 人が協力し、「自家受粉」に挑戦しました。同じ個体の雄しべと雌しべとで受粉させて品質の均一化を図り、安定供給につなげようとするもので、自家受粉した尾上菜からとれた種は、今秋にも実験農場で蒔かれます。生徒たちは「より原種に近い種が取れるか結果が楽しみ」と話しました。



4月28日(日)

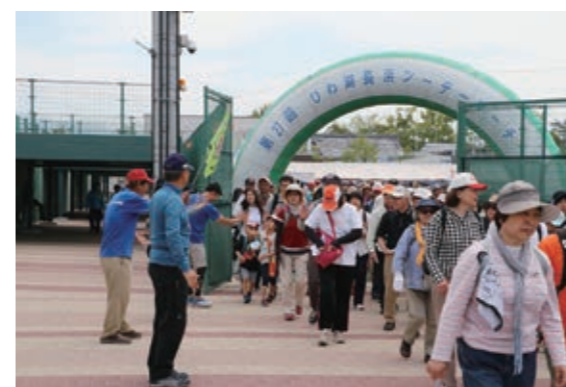
住民の手で新たな観光地

野瀬町の大吉寺で、新たな「滝」が完成し、その披露と命名式が開かれました。大吉寺の周辺整備と観光地づくりに取り組む「大吉寺史跡保存会」が、豊富な谷川の水と大きな岩がある地形を利用して、高さ約 5 メートルの滝を新設。大吉寺が創建された元号にちなんで「貞観の瀧」と名づけられました。保存会では、「新たな観光スポットとなれば」と話しています。

5月10日(金)

肩を並べて仲良く苗植え

一麦保育園の園児 18 人と通所介護施設「真ごころデイサービス」の利用者 11 人が、共同でサツマイモ植えを行いました。園が施設の利用者を招待する形で行われ、苗植えは今回で 7 回目。園児とお年寄りは肩を並べ、和気あいあいと苗植えを楽しみました。お年寄りたちは「楽しみにしていました。可愛い子どもたちと触れ合えて嬉しい」と喜んでいました。



5月11日(土)、12日(日)

新緑の湖北路をウォーキング

県内最大級のウォーキングイベント「びわ湖長浜ツーデーマーチ」が市内一帯で行われました。今年で 27 回目となるこのイベント。湖北の美しい景色の中を歩けるということで、市内外から毎年多くの人々が参加します。今年も、天気にも恵まれ、参加した 3,226 人の人たちは、全 7 コースの中からそれぞれにあった距離を選び、景色を楽しみながらゴールをめざしました。

5月12日(日)

賤ヶ岳の歴史と自然を満喫

賤ヶ岳リフト駐車場で、「第 35 回賤ヶ岳まつり」が開催され、家族連れらで賑わいました。賤ヶ岳の歴史や自然、伝統文化を知ってもらい地域振興を図ろうと、自治会など関係団体で作る実行委員会が毎年開いています。会場は、音楽や手品、よさこいなどが繰り広げられるステージショーのほか、様々な模擬店や現地ガイドが賤ヶ岳の魅力を解説するブースも人気を集めていました。



5月13日(月)

「収穫が楽しみ！」皆んなで田植え

杉野小学校のスクール田で、全校児童 9 人が恒例の田植えを行いました。児童たちは泥に足を取られながらも、地域住民や JA 職員らの指導を受け、丁寧に苗を植えました。収穫されるお米は、2 学期の終業式におにぎりにして食べる予定です。来年 3 月に閉校となる杉野小学校。皆んなで学んだ楽しい思い出が、また一つ増えました。